

## 最近の活動報告

### ◆被災地（石巻市雄勝町）でボランティア活動を行ってきました

8月末に、民主党県連青年局のメンバーでボランティア活動を行いました。(私はボランティア部長として企画・実施しました)

活動内容は一般家屋内での瓦礫撤去作業です。津波によって家の中は瓦礫の山になっていました。もちろん思い出の品も沢山ありますが、避難所には持っていけないため、一緒に処分をされました。大震災から半年が経っていましたが、つい1週間前に起こったのではないかと思うほどの状況で、動きの遅さと長期的な支援の必要性を痛感しました。

近畿地方でも、南海・東南海地震による被害の可能性が言われています。今回の反省と教訓を活かしていかなければなりません。



### ◆学生インターンを受け入れました

8・9月の2か月間にわたり、大学生を受け入れ、インターンシップを実施しました。私のインターンシップは、政治の現場を見て学ぶことで政治や社会問題への意識を高め、若年層の投票率の向上と次世代を担う学生の育成を目的としています。

今回は1名を受け入れ、議会はもとより、委員会、ボランティア、私の普段の活動（街頭演説・ポスティング・地域イベント参加・勉強会参加等）などを体験してもらいました。最後に、市民病院合併問題から地域医療に対するアクションプランを自ら作成し、街頭演説で訴えてもらいました。立ち止まり拍手を下さる方もおり、大きな経験を得ました。

これから社会に出ていく中で、今回の経験を生かしてもらえたらと思っています。



加古川駅で街頭演説を行う学生



### なかむら亮太プロフィール

1981年4月4日生 妻と2人暮らし 加古川町木村在住  
 白陵中学・高等学校、関西学院大学法学部卒  
 大学生の頃、落選中の岡田康裕氏をボランティアスタッフとして応援  
 大学卒業後は証券会社に勤務。数十社のベンチャー企業の株式上場に携わる。  
 岡田康裕衆議院議員の公設秘書を経て、2010年7月より加古川市議会議員。  
 福祉環境常任委員会所属  
 趣味：旅行、読書、歴史的なものを見ること  
 尊敬する人物：土方歳三、広田弘毅  
 好きな言葉：なせば成る

ブログもご覧下さい！→



ホームページも是非ご覧ください！

<http://ryotanakamura.com/>

もしくは検索サイトで

なかむら亮太

検索

# なかむら亮太の市政報告

NO. 6

発行日：2011年10月  
 発行：加古川市議会  
 市民クラブ  
 加古川町北在家2000  
 079-427-9308

## ごあいさつ

台風12号・15号により加古川においても大きな被害が発生しました。被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回の被害により、様々な課題が浮き彫りになりました。同じ轍を踏まないよう、しっかりと議論し準備をしていかなければなりません。

また、9月2日から21日間の日程で第4回定例会が開催され、決算資料が提出され、それについて議会で審議を行いました。経済状況も良くない中で、歳入が大幅に増えることは見込めません。歳出をしっかりとチェックし、有効なお金の使い方を行っていかなくてはなりません。

それぞれ、皆様からのご意見もいただきながら、効率的な市政運営のために提言をして参ります。

## 平成23年第4回定例会（平成23年9月2日～9月22日）

### 主な議案の審査結果

議案第54号	平成23年度加古川市一般会計補正予算(第2回)		原案可決(賛成多数)
議案第55号	平成23年度加古川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)	前年度の繰越金278,900千円の確定に伴い、歳入歳出に追加し、それぞれ26,683,000千円とする。	原案可決(賛成多数)
議案第67号	加古川市知的障害者更生施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を定めること。	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスへの移行及び指定管理者制度の導入に伴う改正。	原案可決(賛成多数)

### 意見書の審査結果

	件名	審査結果
意見書案第2号	原子力発電から撤退し、自然エネルギーへの政策転換を求める意見書	不採択(賛成少数)
意見書案第3号	TPP参加に反対する意見書	不採択(賛成少数)
意見書案第4号	拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度の法制化を求める意見書	採択(全会一致)

※意見書案第2号について、内容としてはほぼ賛成できるものです。しかし、内容を精査したところ、原発をゼロにすることが、電力需要や経済状況を考えると本当に可能なのか、まだ現状では判断できませんでした。ドイツやイタリアも、フランスの原発で作った電気を輸入しています。もちろん自然エネルギーの割合を増やし、原発を減らしてゆくべきであると考えます。また、その技術向上への投資も惜しむべきではありません。

※意見書案第4号について、拡大生産者責任とは、製品の処理やリサイクル費用を全て製品価格に含めて、生産者がその費用を負担することです。それによって、処理にかかる社会的費用を低減させるとともに、生産者が使用済製品の処理にかかる費用をできるだけ下げようとするのがインセンティブとなって、結果的にリサイクルしやすい製品や廃棄処理の容易な製品の制作に移行することを狙っているものです。また、デポジット制とは、製品の販売価格にデポジット料を上乘せして販売し、リサイクルに出すときに、その分を返してもらうことです。それによって、リサイクル率が高まるのが期待されます。そのため賛成致しました。



# 9月議会ダイジェスト

平成22年度各会計決算が認定されました

(単位：円)

	決算額		形式収支 (d)=(b-c)	繰越財源 (e)	実質収支 (d-e)
	予算額 (a)	歳入(b) 歳出(c)			
一般会計	84,751,258,000	81,558,919,941	423,765,429	298,047,000	125,718,429
国民健康保険	26,523,373,000	26,032,723,413	278,900,975		278,900,975
老人保健	34,940,000	13,056,084	0		0
後期高齢者医療	2,147,074,000	2,118,586,565	47,643,865		47,643,865
介護保険	12,984,158,000	12,503,227,278	86,079,455		86,079,455
公園墓地	305,381,000	290,204,305	106,209,979		106,209,979
夜間急病	384,933,000	399,150,227	128,423,991		128,423,991
歯科保健	112,225,000	111,603,465	22,374,643		22,374,643
緊急通報	19,843,000	19,842,130	3,349,028		3,349,028
公設地方卸売市場	122,459,000	110,310,684	0		0
駐車場	196,817,000	123,581,040	-70,460,370		-70,460,370
下水道	9,940,563,000	9,078,679,300	-33,760,329	30,463,000	-64,223,329
財産区	357,346,000	347,571,200	148,588,298		148,588,298
計	137,880,370,000	132,707,455,632	1,141,114,964	328,510,000	812,604,964

## <企業会計>

(単位：円)

水道事業	
総収益	5,450,478,366
総費用	4,890,292,080
当年度純利益	560,186,286
前年度繰越欠損金	0
当年度未処分利益剰余金	560,186,286

(単位：円)

病院事業	
総収益	9,385,941,329
総費用	9,828,522,906
当年度純利益	-442,581,577
前年度繰越欠損金	5,242,792,712
当年度未処分利益剰余金	5,685,374,289

## <財政指標>

区分	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度
財政力指数	0.893	0.922	0.908	0.873	0.827
経常一般財源比率(%)	93.5	92.8	96.3	92.4	100.3
経常収支比率(%)	88.7	92.5	92.0	93.2	86.6
実質公債費比率(%)	8.8	9.0	10.2	10.9	-

## <市債残高の推移>

(単位：千円)

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一般会計	84,329,405	84,430,823	82,478,472	80,395,510	82,626,318
特別会計	77,182,405	75,479,760	73,795,444	71,757,780	69,637,382
合計	161,511,810	159,910,583	156,273,916	152,153,290	152,263,700

平成22年度決算は、一般会計、特別会計ともに、翌年に繰り越すべき財源を引いた実質収支が黒字決算となりました。行革の成果も見られ、経常収支比率は88.7%と昨年から3.8%改善されましたが、依然として弾力性は乏しく、自由に使えるお金は少ないままです。社会保障費がこれからも増大する中では、大変厳しい状況と言えます。市債の元利償還もこれから負担となってきますので、事業の執行にあたってはコスト意識を強く持ち、更なる歳入歳出や事業の見直し、そしてその透明化が必要です。これまでの行革を評価し決算を認定しましたが、これからも財政状況を注視し、意見・行動をして参ります。

## 財政指標のミカタ

### ※財政力指数

1に近づくか、1を超えるほど財源に余裕がある。

### ※一般財源比率

100%を超えるほど財源に安定性があり、歳入構造に弾力性がある。

### ※経常収支比率

100%に近いほど財政構造が硬直化している。都市にあつては80%を超える場合には弾力性を失いつつあるとされる。

### ※実質公債費比率

この比率が18%を超えた場合、地方債の発行に国の許可が必要となり、25%以上となると発行が制限される。

## 市政ニュース

# 「加古川・東北 産直便」 (加古川と東北の物産アンテナショップ)

# OPEN!

10月1日からヤマトヤシキ加古川店地下1階で、加古川産農畜産物の知名度向上、新たな加古川ブランドの創出などを目的としたアンテナショップがオープンしました。その中で、東日本大震災による直接被害及び地震発生後の消費低迷による2次被害等の影響を多く受けている地域内の事業活動を側面支援することを目的に、東北地方の物産販売を行っています。単に物を売るのではなく、生産者・産品を消費者とつなぎ、バイヤーや飲食業者とつなぎ、観光・交流面でつなぐ。加古川と東北をつなげるアンテナショップを目指しています。

是非、ご支援下さい！

概要は以下の通りです。

- 店舗名：「加古川・東北 産直便」
- 場所：ヤマトヤシキ加古川店地下1階（北側中央）
- 出店社：株式会社ふぁーみんサポート東はりま
- 期間：平成23年10月1日から平成24年1月31日まで

このアンテナショップについては、6月議会における一般質問にて私が提案したものです。質問の主旨は、東日本大震災の被害は非常に大きく、そこからの復興には長い時間がかかるため、復興支援イベントを行った加古川市としても一過性のイベントで終わるのではなく中長期にわたって支援していくべきであり、物産展を行った経緯から東北の物産を扱うアンテナショップを検討してもらいたいというものでした。特に今回の大震災では仕事を失くされた方も多く、継続的な経済支援が求められます。質問後に庁内で検討がなされ、今回の実施に至りました。今回は4ヶ月の実施ですが、今後とも続くように、またここから駅前商店街の活性化や出店サポートの仕組みなどにもつなげていきたいと考えており、引き続き提案して参りたいと思っています。



## 市政報告の郵送ご希望の方へ

この市政報告は、基本的にポスティングと駅前等での配布となっております。郵送をご希望されます方は、ご遠慮なく下記までご連絡下さい。次回より、郵送にてお送り致します。(お名前とご住所を明記下さいませよう、お願い致します。頂戴した個人情報につきましては、厳重に管理を致しております。)

中村 亮太

住所：加古川市加古川町北在家 2000 加古川市議会市民クラブ

TEL：079-427-9308 (会派控室)

079-425-3811 /FAX：050-3156-1255

E-MAIL：info@ryotanakamura.com